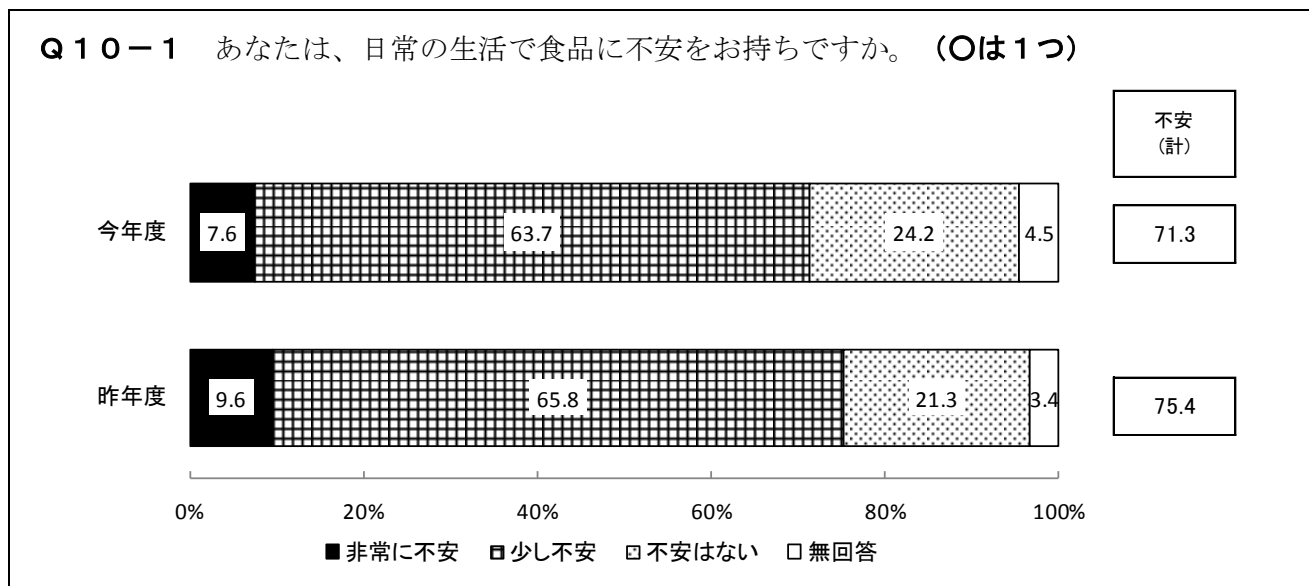


10. 食の安心・安全について

10-1. 食品に対する不安



食品に対する不安について、「非常に不安」と「少し不安」を合わせた『不安(計)』は71.3%と7割を超えている。昨年度と比較すると、『不安(計)』は4.1ポイント低下している。

【属性別のまとめ】

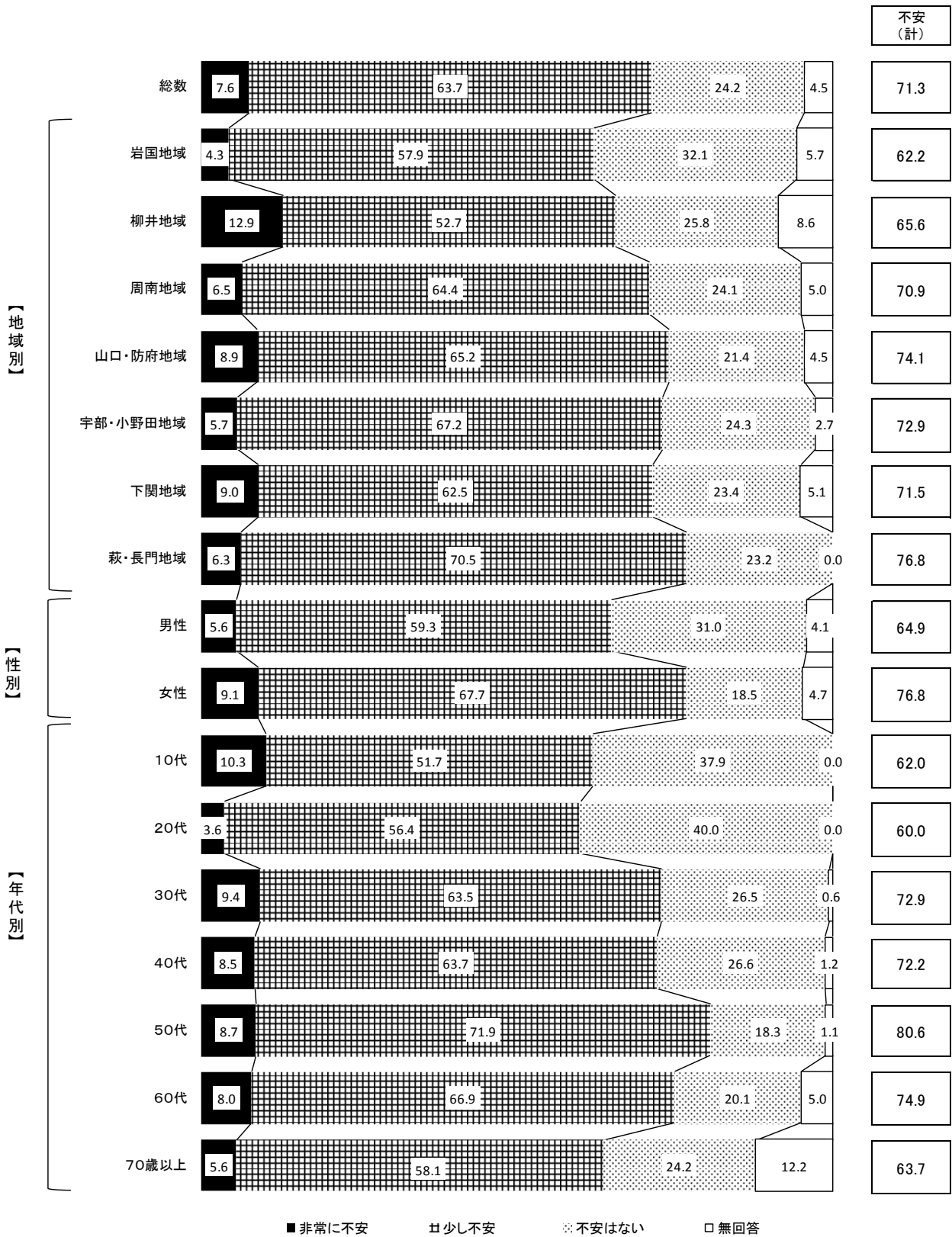
図9は、食品に対する不安について、「非常に不安」と「少し不安」を合わせた『不安(計)』を属性別にまとめたものである。

地域別にみると、『不安(計)』は萩・長門地域(76.8%)が最も高くなっている。

性別にみると、『不安(計)』は女性(76.8%)が男性(64.9%)を11.9ポイント上回っている。

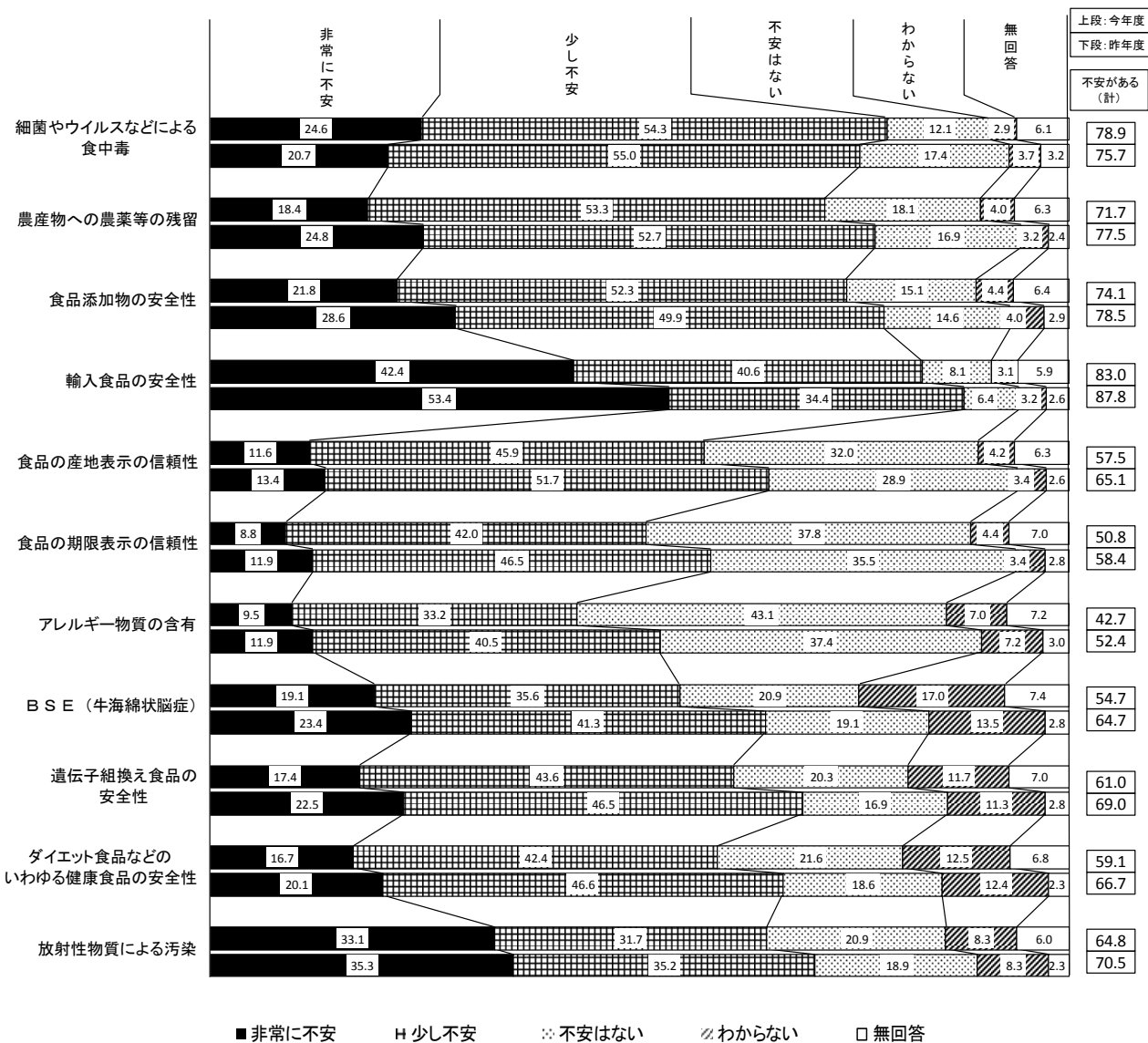
年代別にみると、『不安(計)』は50代(80.6%)が最も高くなっている。

図9 食品に対する不安



10-2. 食品に対する不安の要因

Q10-2 あなたは食品について、どのようなことに不安をお持ちですか。
いずれか1つを○で囲んでください。(○はそれぞれ1つずつ)



食品に対する不安の要因について、「非常に不安」と「少し不安」を合わせた『不安(計)』は、「輸入食品の安全性」が83.0%と最も高くなっている。昨年度と比較すると、「細菌やウイルスなどによる食中毒」(78.9%)以外、すべての項目で『不安(計)』が低下している。

【属性別のまとめ】

表9-1は、食品に対する不安の要因について、「非常に不安」と「少し不安」を合わせた『不安(計)』の上位5項目を属性別にまとめたものである。

「輸入食品の安全性」は、地域別にみると山口・防府(86.4%)が最も高く、性別にみると女性(87.2%)が男性(78.1%)を9.1ポイント上回っている。年代別にみると50代(89.7%)が最も高くなっている。

「細菌やウイルスなどによる食中毒」は、地域別にみると下関地域(80.8%)が最も高く、性別にみると女性(83.6%)が男性(73.4%)を10.2ポイント上回っている。年代別にみると20代(83.6%)が最も高くなっている。

「食品添加物の安全性」は、地域別にみると下関地域(77.2%)が最も高く、性別にみると女性(79.8%)が男性(67.5%)を12.3ポイント上回っている。年代別にみると50代(79.1%)が最も高くなっている。

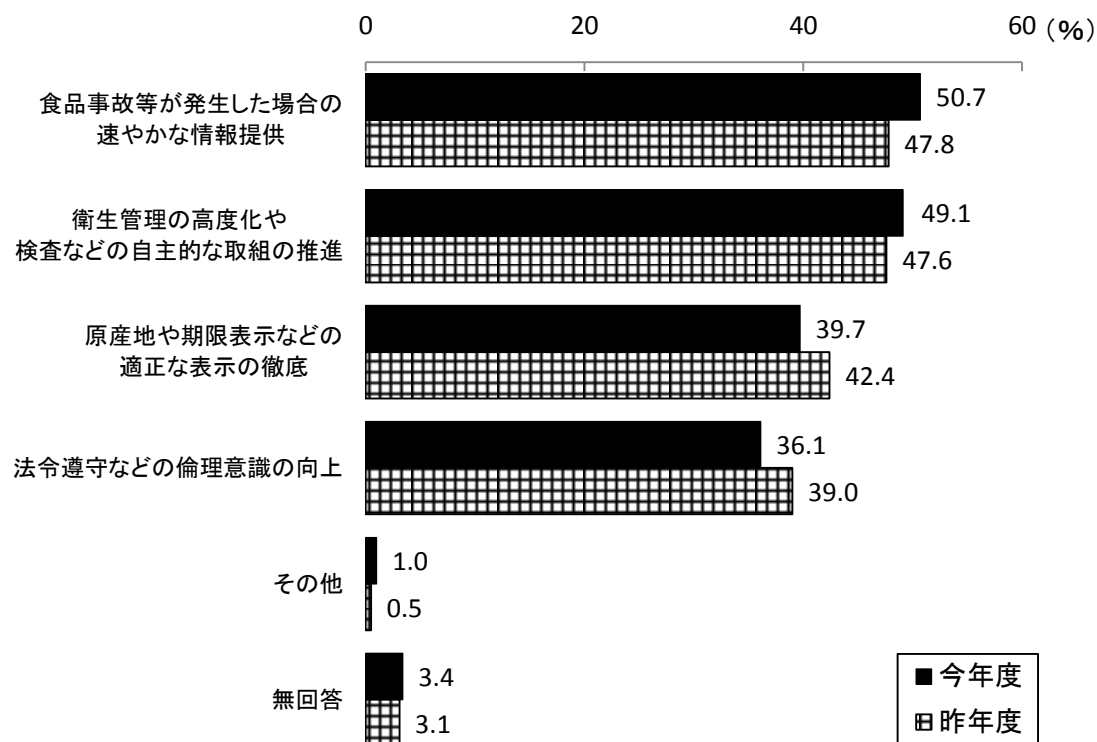
表9-1 食品に対する不安の要因(上位5項目)

| | | 輸入食品の 安全性 | 細菌やウイル スなどによる食 中毒 | 食品添加物の 安全性 | 農産物への 農薬等の残留 | 放射性物質に よる汚染 |
|-----|----------|--------------|-------------------------|---------------|-----------------|----------------|
| 総数 | | 83.0 | 78.9 | 74.1 | 71.7 | 64.8 |
| 地域別 | 岩国地域 | 80.7 | 78.6 | 70.0 | 72.8 | 70.0 |
| | 柳井地域 | 78.5 | 72.0 | 71.0 | 67.8 | 66.7 |
| | 周南地域 | 82.4 | 79.1 | 72.6 | 73.1 | 63.4 |
| | 山口・防府地域 | 86.4 | 78.0 | 76.2 | 73.3 | 64.0 |
| | 宇部・小野田地域 | 82.1 | 80.1 | 74.7 | 73.7 | 62.5 |
| | 下関地域 | 84.9 | 80.8 | 77.2 | 68.6 | 66.7 |
| | 萩・長門地域 | 76.9 | 78.9 | 69.5 | 70.5 | 66.3 |
| 性別 | 男性 | 78.1 | 73.4 | 67.5 | 63.8 | 57.6 |
| | 女性 | 87.2 | 83.6 | 79.8 | 78.5 | 71.1 |
| 年代別 | 10代 | 65.5 | 79.3 | 75.8 | 68.9 | 51.7 |
| | 20代 | 70.9 | 83.6 | 64.6 | 61.8 | 51.8 |
| | 30代 | 81.1 | 80.0 | 73.6 | 72.4 | 66.5 |
| | 40代 | 86.5 | 77.2 | 72.2 | 70.3 | 61.8 |
| | 50代 | 89.7 | 83.3 | 79.1 | 77.2 | 68.8 |
| | 60代 | 84.8 | 79.6 | 77.2 | 73.3 | 68.0 |
| | 70歳以上 | 80.0 | 74.7 | 72.2 | 70.8 | 65.6 |

10-3. 安全で安心な食生活を送るために必要な取組

Q10-3 あなたは、県民が安全で安心な食生活を送るために、「食品関連事業者（生産者、製造・加工者、販売者）」、「消費者」、「県」は、それぞれどのような取組が必要だと思いますか。

(1) 食品関連事業者に望む取組（〇は2つまで）



安全で安心な食生活を送るために「食品関連事業者」に望む取組について、「食品事故等が発生した場合の速やかな情報提供」が50.7%と最も高く、次いで「衛生管理の高度化や検査などの自主的な取組の推進」(49.1%)、「原産地や期限表示などの適正な表示の徹底」(39.7%)、「法令遵守などの倫理意識の向上」(36.1%)の順となっている。昨年度と比較すると、「食品事故等が発生した場合の速やかな情報提供」が2.9ポイント上昇し、「法令遵守などの倫理意識の向上」が2.9ポイント低下している。

【属性別のまとめ】

表9-2(1)は、安全で安心な食生活を送るために「食品関連事業者」に望む取組について、属性別にまとめたものである。

「食品事故等が発生した場合の速やかな情報提供」は、地域別にみると萩・長門地域(55.8%)が最も高く、性別にみると大きな差はみられない。年代別にみると50代(54.0%)が最も高くなっている。

「衛生管理の高度化や検査などの自主的な取組の推進」は、地域別にみると萩・長門地域(61.1%)

が最も高く、性別にみると女性（52.8%）が男性（44.6%）を 8.2 ポイント上回っている。年代別にみると 10 代（62.1%）が最も高くなっている。

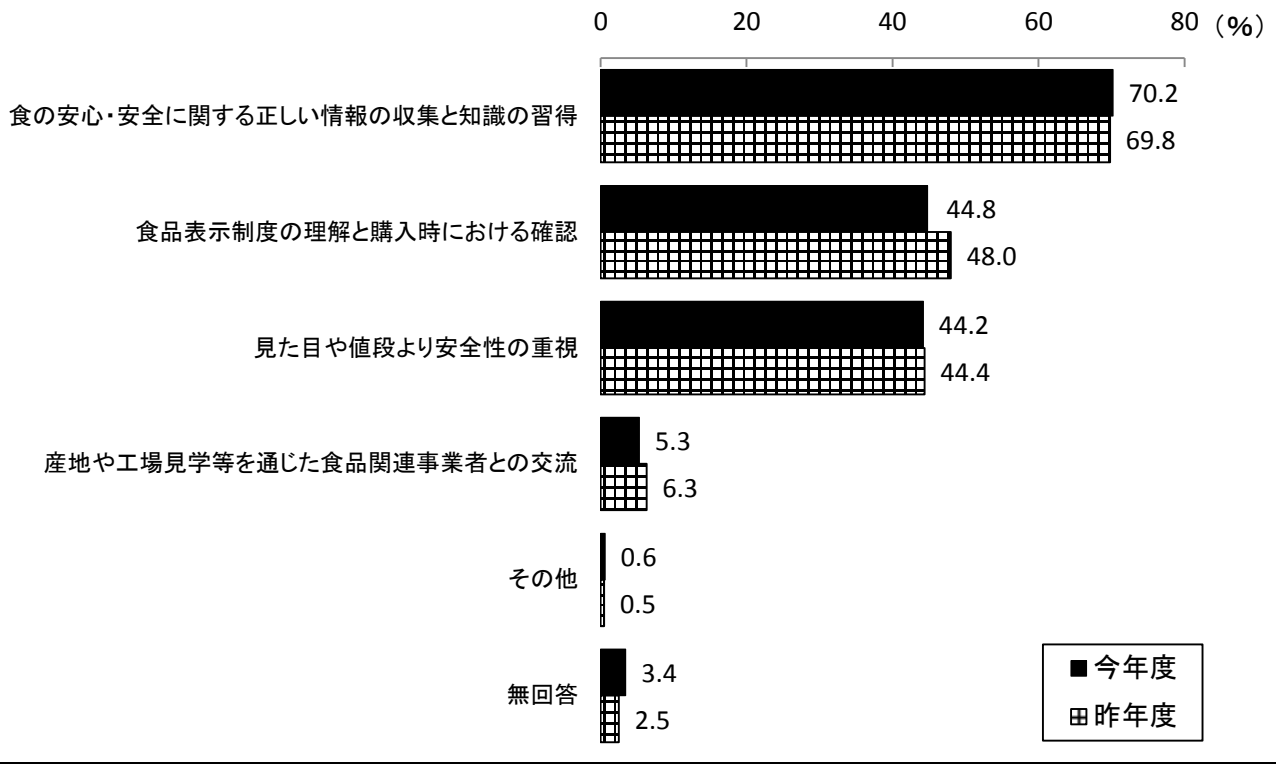
「原産地や期限表示などの適正な表示の徹底」は、地域別にみると萩・長門地域（44.2%）が最も高く、性別にみると女性（42.1%）が男性（36.8%）を 5.3 ポイント上回っている。年代別にみると 70 歳以上（46.7%）が最も高くなっている。

「法令遵守などの倫理意識の向上」は、地域別にみると周南地域（39.6%）が最も高く、性別にみると男性（43.1%）が女性（30.5%）を 12.6 ポイント上回っている。年代別にみると 50 代（41.1%）が最も高くなっている。

表 9-2 (1) 食品関連事業者に望む取組

| | | 食品事故等が発生した場合の速やかな情報提供 | 衛生管理の高度化や検査などの自主的な取組の推進 | 原産地や期限表示などの適正な表示の徹底 | 法令遵守などの倫理意識の向上 |
|-----|----------|-----------------------|-------------------------|---------------------|----------------|
| 総数 | | 50.7 | 49.1 | 39.7 | 36.1 |
| 地域別 | 岩国地域 | 52.1 | 42.9 | 43.6 | 34.3 |
| | 柳井地域 | 48.4 | 44.1 | 43.0 | 30.1 |
| | 周南地域 | 47.5 | 50.0 | 38.5 | 39.6 |
| | 山口・防府地域 | 52.4 | 48.2 | 39.6 | 34.8 |
| | 宇部・小野田地域 | 50.7 | 50.7 | 39.2 | 36.5 |
| | 下関地域 | 51.3 | 48.7 | 37.5 | 38.1 |
| | 萩・長門地域 | 55.8 | 61.1 | 44.2 | 32.6 |
| 性別 | 男性 | 49.3 | 44.6 | 36.8 | 43.1 |
| | 女性 | 52.1 | 52.8 | 42.1 | 30.5 |
| 年代別 | 10代 | 34.5 | 62.1 | 37.9 | 34.5 |
| | 20代 | 50.0 | 60.0 | 27.3 | 32.7 |
| | 30代 | 49.4 | 51.8 | 41.2 | 34.7 |
| | 40代 | 48.6 | 52.9 | 35.1 | 38.2 |
| | 50代 | 54.0 | 49.0 | 36.5 | 41.1 |
| | 60代 | 52.9 | 46.0 | 41.9 | 37.7 |
| | 70歳以上 | 50.6 | 43.9 | 46.7 | 31.7 |

(2) 消費者に必要な取組 (〇は2つまで)



安全で安心な食生活を送るために「消費者」に必要な取組について、「食の安心・安全に関する正しい情報の収集と知識の習得」が 70.2%と最も高く、次いで「食品表示制度の理解と購入時における確認」(44.8%)、「見た目や値段より安全性の重視」(44.2%)、「産地や工場見学等を通じた食品関連事業者との交流」(5.3%)の順となっている。昨年度と比較すると、「食品表示制度の理解と購入時における確認」が 3.2 ポイント低下している。

【属性別のまとめ】

表9-2(2)は、安全で安心な食生活を送るために「消費者」に必要な取組について、属性別にまとめたものである。

「食の安心・安全に関する正しい情報の収集と知識の習得」は、地域別にみると下関地域(74.0%)が最も高く、性別にみると大きな差はみられない。年代別にみると50代(77.2%)が最も高くなっている。

「食品表示制度の理解と購入時における確認」は、地域別にみると山口・防府地域(48.5%)が最も高く、性別にみると大きな差はみられない。年代別にみると30代(51.8%)が最も高くなっている。

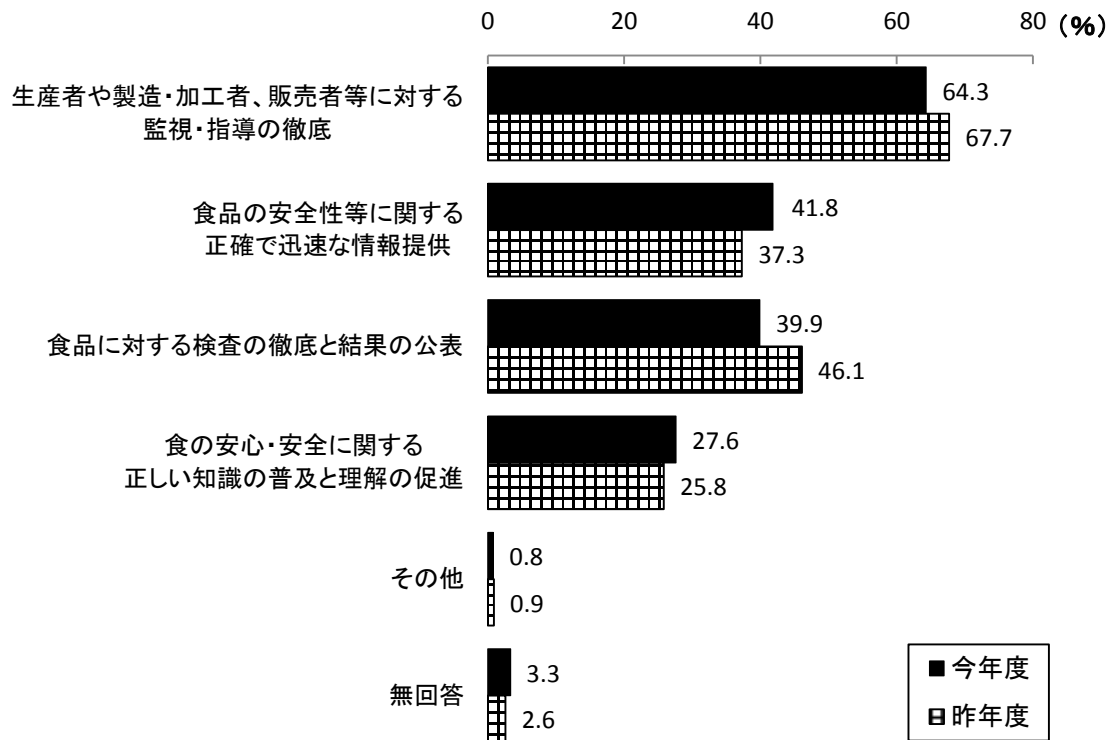
「見た目や値段より安全性の重視」は、地域別にみると柳井地域(55.9%)が最も高く、性別にみると大きな差はみられない。年代別にみると70歳以上(54.7%)が最も高くなっている。

「産地や工場見学等を通じた食品関連事業者との交流」は、地域別にみると山口・防府地域(6.8%)が最も高く、性別にみると大きな差はみられない。年代別にみると40代(8.1%)が最も高くなっている。

表9-2(2) 消費者に必要な取組

| | | 食の安心・安全に関する正しい情報の収集と知識の習得 | 食品表示制度の理解と購入時における確認 | 見た目や値段より安全性の重視 | 産地や工場見学等を通じた食品関連事業者との交流 |
|-----|----------|---------------------------|---------------------|----------------|-------------------------|
| 総数 | | 70.2 | 44.8 | 44.2 | 5.3 |
| 地域別 | 岩国地域 | 66.4 | 39.3 | 45.7 | 5.0 |
| | 柳井地域 | 67.7 | 34.4 | 55.9 | 3.2 |
| | 周南地域 | 70.9 | 48.2 | 43.2 | 4.7 |
| | 山口・防府地域 | 68.5 | 48.5 | 42.6 | 6.8 |
| | 宇部・小野田地域 | 69.9 | 42.2 | 44.3 | 5.7 |
| | 下関地域 | 74.0 | 45.2 | 42.0 | 4.5 |
| | 萩・長門地域 | 73.7 | 48.4 | 48.4 | 6.3 |
| 性別 | 男性 | 68.5 | 44.5 | 44.4 | 4.8 |
| | 女性 | 71.9 | 45.1 | 44.2 | 5.8 |
| 年代別 | 10代 | 72.4 | 34.5 | 44.8 | 6.9 |
| | 20代 | 75.5 | 50.9 | 34.5 | 7.3 |
| | 30代 | 75.9 | 51.8 | 36.5 | 5.9 |
| | 40代 | 71.8 | 42.9 | 41.3 | 8.1 |
| | 50代 | 77.2 | 43.7 | 40.3 | 3.8 |
| | 60代 | 69.7 | 46.6 | 45.7 | 3.3 |
| | 70歳以上 | 61.1 | 41.1 | 54.7 | 5.6 |

(3) 県に望む取組 (〇は2つまで)



安全で安心な食生活を送るために「県」に望む取組について、「生産者や製造・加工者、販売者等に対する監視・指導の徹底」が64.3%と最も高く、次いで「食品の安全性等に関する正確で迅速な情報提供」(41.8%)、「食品に対する検査の徹底と結果の公表」(39.9%)、「食の安心・安全に関する正しい知識の普及と理解の促進」(27.6%)の順となっている。昨年度と比較すると、「食品に対する検査の徹底と結果の公表」が6.2ポイント低下している。

【属性別のまとめ】

表9-2(3)は、安全で安心な食生活を送るために「県」に望む取組について、属性別にまとめたものである。

「生産者や製造・加工者、販売者等に対する監視・指導の徹底」は、地域別にみると萩・長門地域(69.5%)が最も高く、性別にみると大きな差はみられない。年代別にみると70歳以上(69.4%)が最も高くなっている。

「食品の安全性等に関する正確で迅速な情報提供」は、地域別にみると岩国地域(45.7%)が最も高く、性別にみると大きな差はみられない。年代別にみると30代(48.8%)が最も高くなっている。

「食品に対する検査の徹底と結果の公表」は、地域別にみると柳井地域(43.0%)が最も高く、性別にみると大きな差はみられない。年代別にみると30代(51.2%)が最も高くなっている。

「食の安心・安全に関する正しい知識の普及と理解の促進」は、地域別にみると柳井地域(32.3%)が最も高く、性別にみると女性(30.1%)が男性(24.8%)を5.3ポイント上回っている。年代別にみると20代(39.1%)が最も高くなっている。

表9-2(3) 県に望む取組

| | | 生産者や製造・加工者、販売者等に対する監視・指導の徹底 | 食品の安全性等に関する正確で迅速な情報提供 | 食品に対する検査の徹底と結果の公表 | 食の安心・安全に関する正しい知識の普及と理解の促進 |
|-----|----------|-----------------------------|-----------------------|-------------------|---------------------------|
| 総数 | | 64.3 | 41.8 | 39.9 | 27.6 |
| 地域別 | 岩国地域 | 62.9 | 45.7 | 38.6 | 25.0 |
| | 柳井地域 | 51.6 | 43.0 | 43.0 | 32.3 |
| | 周南地域 | 67.6 | 38.8 | 36.3 | 28.1 |
| | 山口・防府地域 | 66.1 | 44.0 | 40.2 | 24.1 |
| | 宇部・小野田地域 | 63.9 | 41.6 | 40.5 | 26.7 |
| | 下関地域 | 63.5 | 41.3 | 41.0 | 31.1 |
| | 萩・長門地域 | 69.5 | 41.1 | 42.1 | 31.6 |
| 性別 | 男性 | 66.5 | 41.3 | 39.0 | 24.8 |
| | 女性 | 62.7 | 42.4 | 40.6 | 30.1 |
| 年代別 | 10代 | 51.7 | 34.5 | 44.8 | 34.5 |
| | 20代 | 52.7 | 35.5 | 45.5 | 39.1 |
| | 30代 | 66.5 | 48.8 | 51.2 | 17.1 |
| | 40代 | 67.2 | 39.8 | 39.8 | 31.3 |
| | 50代 | 65.4 | 40.7 | 41.8 | 25.9 |
| | 60代 | 61.2 | 47.4 | 35.5 | 27.8 |
| | 70歳以上 | 69.4 | 38.1 | 35.6 | 27.2 |